

## 1 2 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

|       |                                                                                                |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催年月日 | 令和 6 年12月20日（金）                                                                                |
| 開催時間  | 午前10時00分                                                                                       |
| 開催場所  | 市役所本館 8 階 第 2 委員会室                                                                             |
| 出席委員  | 浦 上 教育長<br>水 野 教育長職務代理者<br>岩 井 委員<br>藤 井 委員<br>近 田 委員                                          |
| 出席職員  | 太田副教育長・塚本教育監・辻内次長・川添教育政策課長・黒井学校教育推進課長・齊藤人権教育課長・山本学務給食課長・辻本教育センター所長・永澤生涯学習課長・谷桂青少年会館長・岸安中青少年会館長 |

【浦上教育長】 皆さん、おはようございます。

それでは、12月の定例教育委員会を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。

まず、本日の会議録署名委員に岩井委員を指名しますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項に規定する定足数を満たしているため、成立していることをご報告いたします。

### 1 { 1 1 月 定 例 会 会 議 録 の 承 認 }

【浦上教育長】 では、次第の1、11月定例教育委員会会議録の承認について、審議をいたします。

委員の皆様方、何か質疑ございませんでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員異議なしと認めます。よって、11月の定例会会議録につきましては承認と決しました。

### 2 { 教 育 長 及 び 教 育 委 員 の 報 告 }

【浦上教育長】 それでは、次第の2、教育長及び教育委員の報告に移ります。

まず、私の報告ですが、お手元配付の資料のとおりです。

|            |                                    |
|------------|------------------------------------|
| 11月 22日（金） | 定例教育委員会                            |
| 〃          | N P O 法人トッカビ 50 周年記念式典（八尾市文化会館・来賓） |
| 11月 23日（土） | 青少年育成と家庭教育支援市民大会（八尾市文化会館）          |
| 11月 24日（日） | 彩芸術展表彰式（柏原市民文化会館リビエールホール）          |
| 11月 25日（月） | 人形浄瑠璃 吉田玉男氏 鑑賞会（八尾中学校）             |
| 11月 27日（木） | 「うらさんの部屋」①                         |
| 〃          | 「うらさんの部屋」②                         |
| 〃          | A L T 講師研修会（視察）                    |
| 〃          | 令和 6 年度第 4 回行財政改革推進本部会議            |
| 11月 28日（金） | 「うらさんの部屋」③                         |
| 11月 29日（土） | 12 月市議会定例会本会議（第 1 日）               |
| 12月 1日（日）  | 第 39 回高安の里マラソン大会（高安小中学校）           |
| 〃          | 八障問「2024 クリスマスの集い」（来賓）             |
| 12月 2日（月）  | 12 月市議会定例会本会議（第 2 日）               |
| 12月 3日（火）  | 12 月市議会定例会本会議（第 3 日）               |
| 12月 4日（水）  | 部長会                                |
| 12月 6日（金）  | 安中の花いっぱい運動（J R 八尾駅）                |
| 12月 7日（土）  | 桂小学校 150 周年記念式典                    |
| 〃          | イルミネーション点灯式（近鉄八尾駅前噴水広場・八尾ロータリーク    |
| 〃          | ラブ・八尾ローターアクトクラブ共催）                 |
| 12月 8日（日）  | 八尾市英語スピーキングコンテスト（午前：小学校の部、午後：中     |
| 〃          | 学校の部）                              |
| 〃          | 刑部小学校区「防災訓練とおもちつき」（刑部小学校・来賓）       |
| 12月 10日（火） | 文教常任委員会・予算決算常任委員会文教分科会             |
| 12月 14日（土） | 第 14 回八尾ベースボールクラブカップ閉会式（来賓）        |
| 12月 15日（日） | 児童虐待ゼロをめざす実行委員会主催講演会・映画上映会（来賓）     |
| 12月 16日（月） | 予算決算常任委員会全体会                       |
| 12月 17日（火） | 久宝寺中学校 お茶会                         |
| 〃          | 第 3 回 社会教育委員会議                     |
| 12月 19日（木） | 12 月市議会定例会本会議（第 4 日）、予算決算常任委員会全体会  |

【浦上教育長】 私から特にご紹介させていただきたい内容がいくつかあります。まず、11月27日（水）、「うらさんの部屋 1」「うらさんの部屋 2」と書いていますが、「うらさんの部屋」とは、八尾市内で不登校となっている児童生徒の保護者や子育てに悩んでいる保護者の方々を対象として、10月末から私が公務としてオンライン相談を実施しています。10月中旬頃に各小中学校を通じて保護者へ資料を配布しました。相談を希望される方が、事前に申込みをされて、オンライン相談を実施しています。本日までに 6 名の相談を受けました。オンライン相談では、保護者の話を聞きながら、どこの機関へ繋げるべきかを話します。例えば、学校、あるいは教育センターや福祉関係など、相談内容から私が判

断して、最も適した機関へつないでいます。また、私のこれまでの経験から「こうした方がよいのでは?」「こういう方法が一番いいですよ」などの話もさせていただいています。また、不登校の場合、子どもも家に居ることがあるため、保護者が子どもの同席を希望する場合、保護者と子どもと一緒に面談をしています。相談した内容は、保護者了承のもと、学校へ相談内容を伝えていきますので、学校側にも喜んでもらっています。毎月、別の公務の時間と重複しないように調整し、オンライン相談日時を決定しています。1月も5回から6回程度の候補日時を調整する予定です。この場を借りて、教育委員の皆様方にもお伝えさせていただきたいと思います。

次に、12月6日（金）、安中の花いっぱい運動（JR八尾駅）と書いていますが、これは、安中小学校の児童会の子どもたちや「花いっぱい運動」に参加したいというボランティアの子どもたちを中心とした取り組みです。この取り組みには、安中小学校の校務員さんも参加されています。この方は、園芸活動などを得意としており、子どもたちと一緒に、種から花を育てるという活動に取り組んでいます。今回は、正月用の葉牡丹を種から育てて、JR八尾駅周辺で通りがかりの方々へプレゼントするという企画です。この取り組みは、すでに何度か実施していますので、地域の方々へプリントを配布したり、学校の前に掲示するなどの案内をしています。当日は、私も見に行きましたが、約50名の方々が集まっておられ、人数の多さに驚きました。こういう活動が、地域に浸透しているのだと強く感じました。葉牡丹を作るのは、難しいのですが、立派な葉牡丹を育てておられて、驚きました。この活動を通して、花いっぱい運動を行っていることの周知や、人権啓発に努めていることをすごく感じましたので、皆さんにもご紹介させていただきました。

次に、12月8日（日）、八尾市英語スピーキングコンテストがありました。これは、教育委員会主催の行事であり、私も毎回出席して挨拶させてもらっています。今回、子どもたちの発表する姿を見せてもらい、これまでで一番良かったと感じています。午前中は、小学6年生が発表し、午後は中学生が発表しました。小学生は各校1名が、学校の代表として出席し、中学生は1年生と2年生が代表で発表します。この行事は、単なる英語の発表ではありません。今年4月からJETプログラムで配置しているALTの英語の指導をされているネイティブの方と子どもが会話をするというテーマを設定し、実施しています。会話をするのがメインですが、ALTの皆さんはとても良い人ばかりで、子どもの気持ちを掴んでいるように思いました。その辺りについては、担当課長から報告してもらおうと思いますので、後程よろしくお願いします。

最後に、12月17日（火）、第3回社会教育委員会議がありました。これは、教育委員会に関わる生涯学習の部分において、様々なご意見を頂戴する会議体です。今回は、9月に実施した生涯学習に関わるアンケート調査の結果を基に、事務局である生涯学習課が「今後の生涯学習の在り方について」の素案を整理して、ご意見をいただいたところです。その内容を見て、社会教育委員の方は、「素案の出来栄えが良かったため、事務局職員の方が作成した素案であることに驚きました。」とお褒めの言葉をいただきました。業務多忙の中、事務局職員が頑張っていることを教育委員の皆様にもお伝えしたかったので、この場を借りて報告させていただきます。この素案については、その会議の中で社会教育委員の皆様のご意見を頂戴しましたので、それを含めた形の冊子を作成していきます。冊子の作成が完成しましたら、教育委員の皆様方へご提示させていただき、ご意見を頂戴した後、最終版を市議会へ議案上程するという段取りとなりますので、引き続きよろしくお願いし

ます。

私の報告は以上となりますが、事務局から報告をお願いしたいと思います。学校推進課長と生涯学習課長よりしく願います。まず、学校教育推進課長から報告願います。

【黒井学校教育推進課長】 教育長からご報告がありましたとおり、12月8日（日）、八尾市英語スピーキングコンテストを実施しましたので、その内容についてご報告させていただきます。本コンテストは、コロナ禍で数年間は開催を見送っておりましたが、昨年度から再開しております。昨年度までは、長らく本市は、英語指導助手として派遣会社と契約をし、そこからALTを派遣してもらう形で日々の英語授業の助手ということで、特にネイティブの発音やリスニングでALTを活用してきました。一方、令和5年度からは、JETプログラムを活用して、夏頃に32名のALTたちが入国しています。今年度は、JETプログラムが2年目を迎えているため、派遣会社とALT派遣の契約は締結しておりませんので、JETプログラムで入国している32名のALTが我々とともに本コンテストを実施しました。今年度からは、派遣契約ではないため、ALTへの研修も我々で実施する必要があるため、既にALTへの研修を数回実施してきたところです。研修においても、授業力の向上という内容を実施させていただき、その中に本コンテストの実施方法や日々の子どもとの練習をどのような視点に立って練習パートナーを務めてもらうのかなどを指導しました。ALTは、コンテスト当日のスタッフや審査員、その他には司会や子どもとのパートナーという役割があります。教育長からの報告にもあったとおり、コンテスト当日は良く動いてくれていたと思います。当然、子どもたちの全員が審査員特別賞を受賞できたわけではありませんが、すべての児童生徒が学校代表として出場したことに誇りを持ったり、自信を付けていた様子でした。特に小学生は、コンテスト終了後、記念写真を撮って、「来年度は、中学校に上がっても出場したい」ということを発言している児童もいましたので、日常の学校の英語教育を更に高めていきたいという意識の醸成にもつながったのではないかなと思います。

【浦上教育長】 ありがとうございます。続きまして、永澤課長から報告願います。

【永澤生涯学習課長】 12月17日（火）、社会教育委員会議を開催させていただき、教育長のご報告にもあったとおり、八尾市における生涯学習の在り方についてということで、9月に実施しましたアンケートを基に、後は国のアンケート等も参考にしながら、八尾市として今後、生涯学習をどのように展開していくのかということについて冊子を作成させていただき、社会教育委員の皆様にご意見を頂戴する会議を開催させていただきました。教育長のご報告にもあったとおり、社会教育委員の皆様から、私達が作成した素案に対してお褒めの言葉をいただきました。

今後、社会教育委員の皆様から頂戴したご意見を踏まえて、2月の教育委員会議において、ご提示させていただき、教育委員の皆様からもご意見を頂戴して、改めて素案を見直して、ご提示させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。その後、教育長からの報告にもあったように、市議会へ議案上程する予定であります。将来的には、指定管理や生涯学習をどのように展開していくのかとかという形にしていきたいと考えております。以上です。

【浦上教育長】 ありがとうございます。それでは、委員の皆様方、この間の活動状況について何かあればご報告をお願いします。

【岩井委員】 11月22日（金）、八尾小学校で大阪府教育庁のスクール・エンパワーメント推進事業の「国語の授業づくりモデル校」の2年目の研究発表会がありましたので、参加しました。研究主題は「問づくりから始める授業デザイン」、サブタイトルが「一緒に学び、一緒に考える」と題して国語科の説明文教材を中心に授業改善の研究を進めておられました。

この日の日程は、各学年1クラスずつ、ひまわり教室も含めて計7クラスの授業公開の後、体育館において学校からの取組報告と岡山理科大学准教授の正木友則先生によるご講演がありました。若い先生が多くなっている中、言語能力育成の要となる国語の授業の基本のところを学校全体で共通理解をしながら研究を進めておられ、若い先生方の指導力が非常に向上しているなと思いました。特に、国語科の指導内容は、系統的、段階的に上の学年につながっていくのと同時に、螺旋的、反復的に繰り返しながら学習して資質能力の定着を図っていきます。また、「読むこと」の指導においても、物語文と説明文の指導のねらいとするところは随分と違うのですが、その根っここのところを八尾小学校の先生方はきちんと確認、共通理解することから始められ、「子どもたちの主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善」とはどうあるべきか、その在り方の1つとして「自立した学習者育て」を目指して、第一次で「初発の感想」から「課題づくり」をするという授業に挑戦しておられました。私は授業を見せていただいて、子どもたちみんなが本当に生き生きと、発表したり話し合ったりしていましたし、先生も子どもたちと一緒に考えておられる様子がほほえましく、目の輝きがとても印象に残る、大変、質の高い授業だと思いました。

このような質の高い授業の積み重ねが、過日行かせていただいた成法中学校での「子どもが主体の授業」デザインにつながっていくのだと思います。八尾は学力調査の結果分析から見ても、私は各学校とも言語能力の育成の要となる国語の授業の質を高めるということに、かなり苦勞されているのではないかと想像していますので、ぜひ八尾小学校での取り組みを参考にしてください、自校での、自立した学習者育て、子どもも先生も楽しく力の付く授業づくりに生かしていただきたいと願っております。

次に、12月7日（土）、第35回MOA美術館八尾児童作品展がプリズムホールの3階で開催されていたので、行かせていただきました。この作品展の応募対象者は、八尾の子どもたちの小学校1年生から6年生までとなっています。今年も絵画部門560点、書写部門1,695点、合計2,255点という多くの応募がありました。審査の結果、その内の市長賞、特別賞、金、銀、銅、入選の賞に選ばれた381点の作品が展示されていました。私は、称しておりますので、非常に興味をもって拝見させていただいたのですが、絵画部門も書写部門もどちらも子どもたちの思いがしっかりと伝わってくる作品ばかりで、美を感じる豊かな心が育っているなと感じました。また、受賞した子どもたちのエントリーカードには、昨年もらった賞より今年はその上のランクの賞を取りたいと思って、頑張って作品づくりをしたというような感想が多く書かれており、子どもたちが希望をもって毎年楽しみにしている展覧会なのだと思います。これからは、子どもたちには芸術文化の創作活動を通

して、感性を磨き、豊かな心を育んでいってほしいなと願っております。

【浦上教育長】 ありがとうございます。別の公務がありましたので、代理で教育監に参加してもらいました。教育監から感想を一言お願いします。

【塚本教育監】 会場には、多くの作品が展示をされており、私が特に感心したのは、絵画の中で人物画があったときに、その人物の表情が非常に豊かなだということです。単に人物を選んでいるわけではなく、その場面にいる人の心情や気持ちが描かれているということに書き手の思いや、先ほど岩井委員がおっしゃったような思いというものが表れていたと思います。

また、書写についても、筆の運びや言葉の選択がすごく考えられており、この日のために何枚も書いたんだろうなという足跡が見えるような作品ばかりでした。また、表彰式の様子では子どもたちも非常に緊張をしている様子でしたが、講評の方の一言一言にうなずきながら、達成感や充実感を感じたすばらしい1日であったと思いました。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

【近田委員】 11月29日（金）、教育委員・委員長の研修会である「令和6年度市町村教育委員会研究協議会」が福岡県で開催され、参加させていただきましたので、ご報告いたします。私が参加したテーマは、「いじめ」と「地域と教育の在り方」という2つのテーマです。まず、「いじめ」については、概ね法律の整備が進み、各行政機関にも浸透していますが、それを地域にどのように浸透させていくかについては、各市町村が共通の課題と感じているようです。特に共有できたことは、「いじめ」という言葉の意味が、子どもと大人の間でギャップがある、または、時代に応じて変化しているということです。

「いじめ」という言葉は、流動的で価値観が動く言葉ですが、どのように理解させていくかが課題です。子どもへの理解については、学校で様々なプログラムを通じて取り組んでいますが、市民や地域に対して、どのように浸透させていくのが課題だと思います。その辺りで、学校と保護者、地域とのギャップが生じてしまうので、そのギャップが生じたときになかなか解決困難な問題になっていきます。子ども同士の問題は解決しやすいですが、大人との考え方のギャップをどう埋めていくのが、行政側でも課題であると聞き、私もそうだなと思いました。

次に、「地域と学校の関わり方」についてですが、他市では学校運営協議会という形で地域との連携を進めているようですが、八尾市では現時点ではそこまでには至っていません。もちろん、学校運営協議会における地域の意見をすべて学校や行政側に反映させる必要はありませんが、できるだけ地域の意見を反映させようと、学校運営協議会を立ち上げている地域が多くなってきているようでした。

この問題に関連して、スポーツや、子どもたちの部活動と地域の在り方が現在の社会における課題として注目されています。地域へ積極的に参加を促す、もしくはプロのスポーツの指導者に委託する方向に進むこともあります。それが地域とスポーツ、子どもたちの部活動という観点で本当に良いのかという意見も出されました。また、部活動の地域移行を通じて、先生方の働き方改革という側面、指導面で地域から尽力を得ようという側面

があります。後者の側面で考えたときに、地域の方の負担は一体、誰が考えるのだろうかというような課題もあるという話もありました。先生方の働き方改革も当然大切なことですが、その分、地域だけに負担がいかないような仕組みづくりが大切であるという意見もありました。以上の内容は、あくまで私が参加したグループでの意見ですが、様々な意見交換をすることができました。

【浦上教育長】 ありがとうございます。近田委員がおっしゃった学校運営協議会のことは、数年前から教育委員会の課題です。これは私も実現に向けて取り組む必要があると感じています。現在、各中学校区において、学校運営協議会ではありませんが、実際に学校へ地域の方が入り込んで一緒に先生と活動している学校も数校あります。地域共同推進の必要性は、教育委員会事務局も十分認識しておりますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。

次に、地域との連携の中で、地域へ「いじめ」について、どのようにして浸透していくのかということは、前回の教育委員会議で近田委員が発言されていきました。私も同感で、地域へ「いじめ」について、どのようにして浸透させるか、課題であると感じています。これについて、人権教育課長に考えを聞きたいと思いますので、よろしくお願いします。

【齊藤人権教育課長】 前回の定例教育委員会でご意見をいただき、早速こども・何でも相談課とどのように啓発を進めていくのかという話を進めているところです。啓発方法や、その進め方は様々あると思うのですが、特に、「いじめ」については、従前の定義から変わったところがありますので、「いじめ防止対策推進法」の中で規定されているとおりに傷ついた子どもをしっかりと支援するということを中心に地域や保護者に丁寧に周知していきたいと考えているところです。

【浦上教育長】 ありがとうございます。今後さらに、その辺りを深めていって、様々な施策を考えてほしいと思いますので、よろしくお願いします。

委員の皆様方、他にはいかがでしょうか。

【藤井委員】 先程、岩井委員からご報告がありました11月22日（金）に開催されました令和6年度大阪府教育庁スクール・エンパワーメント推進事業研究について、私も八尾小で国語の授業を見学させていただきました。感想の多くは岩井委員がおっしゃられたとおりです。私は、1年前にも参加をさせていただいたので、授業もちょうど同じ授業をしているということで、前年度の内容と比べることができました。今回は、2年目ということで、どの先生も去年のことも念頭に置きながら、前年度よりも一層工夫されていると思いました。去年よりも更に充実した授業になっているという感想をもちました。

また、特別支援学級である「ひまわり教室」の授業の様子を見させていただいたのですが、子どもさん7、8人が教室の前に立って先生の問いかけに答えていました。特別支援学級であるため、おそらくは発達状況にばらつきがあり、何かしらの配慮が必要であるなど、子どもの状況も様々であると思いますが、先生が上手くリードをされていて、子どもたちも楽しそうに、本当に良い授業をされていると感心しました。来年以降もこういった授業が見られたらいいなと思いました。

【浦上教育長】 ありがとうございます。ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。ないようであれば、次第３の報告事項に移ります。

### 3 { 報告事項 }

【浦上教育長】 それでは、次第の３、報告事項に入らせていただきます。なお、本日予定されております報告事項①「いじめの重大事態事案への対応について」は、八尾市情報公開条例第６条第１号の、個人に関する情報であって当該個人の権利利益を害するおそれがあるものと認められるものに該当するため、非公開とすべき内容となりますので、この報告については非公開にしたいと思います。委員の皆様、いかがでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員、異議なしと認めます。よって、本報告につきましては、非公開とすることといたします。以上をもちまして、公開部分は終了となりますので、傍聴の皆様は申し訳ありませんが、ご退場いただきますよう、よろしくお願いいたします。

議事の都合上、暫時休憩をとります。再開は１分後といたします。

(傍聴者 退室)

(以下、非公開審議)